

2020 年度事業 22 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023年 4月 12日
- 事業名 : 『共食』と『食育』でつなぐ子ども居場所物流整備事業
- 資金分配団体 : 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 実行団体 : 特定非営利活動法人NPOホットライン信州

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成 時期	現在の指標の達成状況	進捗 状況*
0101.ロジ拠点（共同事業体あるいはコンソーシアム）が解決すべき課題を共有できている	ロジ・ハブ拠点の管理を担うメンバー内で解決すべき課題を共有出来ているか	物品の受け入れ配布等システム化に向けて共有化の構築を図っている	2024年 3月	達成状況総合98% ① 長野市と塩尻市に大型物流拠点として倉庫の設置を配置100%。塩尻市有効活用80%(課題専従者体制)。 ② 今後は、受け入れ実態に合わせて、必要ヶ所に配送が行われているが、システム化が課題となっている。75% ③ 3月7日食フェスタ長野の打ち合わせ会議を長野市のデリシア五明研修センターで開催。①東京2月27日～3月1日開催の「休眠預金事業実行団体合同研修会」の報告会を町田・塚田から受、今後の取り組みに活かすこととした。②共食フェスタに向けた来年度の取組みを資金分配団体と打合せ、③コンテナ冷凍冷蔵庫が長野技術専門校に移動した設置状況と運営方法について現場研修を行った。	1
0102.ロジ拠点（共同事業体あるいはコンソーシアム）が協働	①参画団体・機関によるネットワークが生まれているか	①ネットワーク会議に参画する企業や行政が生まれている	2024年 3月	① 達成状況97% ②達成状況90% ② 2022年度 特出すべき取り組み	2

<p>して事業を振り返り、改善させている</p>	<p>②参画団体・機関が継続的なコミュニケーションを図っているか</p>	<p>②ネットワーク会議や食フェスタを通じてコミュニケーションできるコミュニティの素地が生まれている</p>		<p>【ネットワークの進化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月19日「共食でつながるフェスタ」企画会議～実行委員会を開き、食料支援の持続可能なインフラづくりを共有。 ・新たに、今年度から実行委員会に、参画企業の代表として長野牛乳(株)社長や社会福祉法人信濃福祉救護施設旭寮施設長が加わり更なる広がりをみせている。 ・一方、県内の共食文化継承として、OYAKI FARM（おやきファーム）を拠点に、「長野名物おやき」1万個/月の配布ネットワークとおやき作りなど県内に広がりをつくっていく。 ・長野県内スーパー(株)デリシアより、毎月お米を約100kg寄贈受けることと研修センターの量もできるようになった。 ・バローホールディングスが県内の店舗に「フードドライブボックス」の設置に向けた試みを南松本視点から始まり、他の支店との物資の物流体制の枠組みの検討する意向である。 ・上高地(富山市)西部方面へのルートとして、新たな拠点として、新村地区に「信州だれでも食堂」1月～2月準備し3月オープンした。(1階126.3㎡、2階72.1㎡、地下25㎡)業務用冷凍冷蔵庫完備) ・南部方面のルートとして、上伊那郡箕輪町のふれあいの里に、新たな拠点として、1月～活動している「Pur みんなの学校こども食堂」庭にコンテナ2つ置けるスペースがある。 ・バロー南松本で「信州こども食堂」を昨年12月から始まり、「子ども広場」も設置し、それらに伴う、他の支店との物資の提供なども検討している。 <p>【新しい繋がり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月9日内閣官房孤独孤立対策室から「孤独・孤立対策官民 	
--------------------------	--------------------------------------	--	--	---	--

				<p>連携プラットフォーム」の相談面談・物資支援の要請を受託。内閣府を中心とした官民連携のネットワークの広がり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月13日ヨシケイ冷凍弁当 16,000食受入れ体制を構築 県内の長野市・上田市・松本市・塩尻市・飯田市の5ヵ所と岐阜県で受取、各ネットワークハブ拠点～各こども食堂へ配布され、多くの生活困難者への支援につながった。 ・ 5月31日大塚製薬カロリーメイト 96,000個6ヵ所県内対応 ・ 7月16日長野市で「信州こども食堂夏フェスタ in 桜スクエア」は、15のブースが並び、420名が参加。 ・ 7月30日塩尻市「子ども・若者応援フェスタ」でお弁当800食や食材、生活支援物資受取配布など2.2ヵ所対応。 ・ 8月18日～19日長野市で『出張！信州こども食堂 in 裾花小学校』で2日間行われ、今後学校での拡大が見込まれる。 ・ 8月29日休眠預金事業資金分配団体長野県みらい基金、実行団体県社協とのコンソーシアムを組み「社会的養護出身者若者サポートプロジェクト」の事業を通じて、県内市町村社協や関連する多くの団体との連携強化が図られている。 ・ 2月11日松本市芳川地域づくり協議会の講演を通じて、当法人のも催物に町会役員・民生委員・PTAの皆さんの協力と参加が得られた。 	
0201.ロジ拠点が地域に必要なものを発信できるようになる	課題解決に適した事業規模に基づき、人・モノ・カネがどれくらい必要か発信することができているか	ホームページ等広報媒体を通じて本事業におけるニーズを発信している	2024年3月	<p>達成状況 100%</p> <p>5月19日むすびやで「共食でつながるフェスタ」企画～実行委員会にて、「食の物流ネットワーク整備プロジェクト」に、全国食支援活動協力会と長野県・地域振興局・県社協、信州こども食堂ネットワーク関係者ら約22名が、活動に必要な食料支援とあんしん手帖を使った衛生講習会の実施の取り組みを共有した。</p>	2

				<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況を HP で適宜発信している ・Facebook は、連日掲載している。 ・ネットワーク便り 250 頁発信した。 ・NHK・新聞などメディア都度掲載 <p>9月15日午前中は、北海道・山口・鳥取・長野・チャイルド・食支援13名による「食の物流ネットワーク整備プロジェクト」中間評価の実施状況と全体「MOWLS プログラムの進捗共有」の会議と「おやきファーム」の工場を視察。</p> <p>続く午後は、11/12日開催の「共食フェスタながの」実行委員会を食支援活協・県・社協・企業・各種団体・信州子ども食堂ネットワーク27名で意見を交換し、①子ども食堂370ヵ所をめざす、②食の物流ネットワークの整備、③食支援・行政・企業・団体との連携強化と今後の「共食」に向けての意思結集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月23日長野北ロータリークラブで本事業の講演を行い、多くの企業の共感を得て、物心両面による協力を得ている。 ・1月23日全国食支援活動協力会による、「食を通じた地域の見守り、子どもを真ん中につなごう 全国集会」にオンライン参加(青木報告・塚田・町田・小林他)全国の仲間の繋がりが深まった。 <p>県内の物流会社に対して、全国食支援活動協力会にも同席いただきオンラインにて支援の相談を行った。</p> <p>子ども食堂ネットワーク便りを146号発行した(22年4月～23年3月)</p>	
--	--	--	--	--	--

0202.支援地域内で協力してくれる企業・行政が増える	協力企業や自治体の数	①40 企業・20 行政・40 団体との連携	2024 年 3 月	達成状況 95% ・長野県 こども若者局 次世代サポート課県民文化部人権・男女共同参画課及び各企業とのつながりを強めている。 ・塩尻市こども教育部家庭支援課と塩尻市民生委員宅配事業で又、生坂村教育委員会母子家庭支援、立科町町民課など連携。 ・長野市環境部、松本市こども部こども福祉課・中野市など ・長野県社協・各市町村社協など ・各企業、団体、NPO など ・企業団体等支援物資提供・寄附など 食品寄贈 22 社、資金寄付 3 社、自動販売機設置協力 35 社等 ・企業団体等支援物資提供・寄附など 食品寄贈 32 社、資金寄付 5 社、自動販売機設置協力 54 社、21 行政等 ・企業担当者の多くは、SDGs の取り組み方、企業が子ども食堂に対して支援を希望しつつ、何をしたいのか分からない企業や担当者が多い…。具体的に JA バンクの担当者と話をし、お米袋を創ることになり、今後の活用が楽しみである。	2
0203.資金分配団体や他ロジ拠点同士が連携することにより、情報が集まる	他ロジ拠点からもらった寄付食品の量（システムから把握）	① 個数 40 万点 ②重量 30 トン	2024 年 3 月	① 個数 31 万点⇒達成状況 77.5%（2022 年度 4～8 月分） ② 重量 35 トン⇒達成状況 117%（2022 年度 4～8 月分） 当団体の取組が内外共に高く評価され、期待が大きく、信頼度も高いため、物資量も集まり、需要も高まっている。 ① 個数 102 万点⇒達成状況 255%（2022 年度 4～2023 年 3 月） ② 重量 152.3 トン⇒達成状況 508%（2022 年度 4～2023 年 3 月） 当団体への評価が高く、信頼性・速報性が高いため、物資量も集まり、期待感も多く需要も高まっている。	1
0301.食品寄付等を受け止められるハブ拠点（保管場所）が充足している	寄付食品を適切にストック・シェアできる	本事業の計画で新たにハブ拠点を 4 カ所増し 12 カ所を目標とする。	2024 年 3 月	達成状況 142% ・飯山 1、中野 1、長野 5、上田 1、塩尻 2 松本 4、伊那 1、岡谷 1、諏訪 1、計 17 カ所	1

	ロジ拠点・ハブ拠点の設置数			・同上、松本5、計18ヵ所	
0302.支援地域内の仕分け、配送に協力してくれる担い手がいる	活動に対して、担い手が足りているか	現在リーダー2人、サブ8人で専従体制を構築する。	2024年3月	達成状況 70% ・スタッフ20名ほどいるが、予算上専従者体制は難しく、活動状況に応じて、活動費+謝金+旅費で対応している。 ・スタッフ24名、県職員・教員・会社員・エクセラ高校生12名などのボランティア参加者が約40名多く運営を支えてくれる。	2
0303.ハブ拠点が安全に管理されている	ロジ・ハブ拠点が食品の取り扱いルール等を活用し、適切に運営できているか	事故なく、活動を行うことができている。 不慮の事故にも対応できるよう適切な対処方法をとっている	2024年3月	達成状況 90% ・活動数、参加人員が増え続ける一方、無事故、無違反を継続。 ・全国食支援活動協力会の発行物「あんしん手帳」をフルに活用して安心・安全に衛生管理に努めている。 ・不測の事態には、賠償・損害など1事故最大2億円の保険加入を継続している。 ・初めて開くイベント等には、高齢者や子どもが安心して参加できる環境を整えるため、安心手帳による徹底や公衆衛生学の専門家(鷹野和美医学博士)コロナ対策のBCP(事業継続計画)アドバイザーになって開催している。 ・達成状況 95% ・活動数、参加人員が大幅に増え続ける一方、全国食支援活動協力会の発行物「あんしん手帳」をフルに活用して安心・安全に衛生管理に努めていたため、無事故、無違反を継続。 ・不測の事態には、賠償・損害など1事故最大2億円の保険加入を継続している。食品衛生に関する事故はなかった。	2

*進捗状況：1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A: 変更項目
<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフや参加者に、感染者が出ないよう、3密回避とマスクの着用や除菌・消毒などの徹底を図っている。 ・ 理事の活動参加については一定の成果が見られたものの、感染症拡大により、高齢の一部理事は、外出もZOOM会議等も困難な状態に置かれてきたが、感染症が落ち着いてきたので、このタイミングで、理事の参加も促し組織を盛り上げていきたい。 <p>一方、事務局スタッフとボランティア中心に運営されている組織のため、『運営委員会』の強化を優先し、若手が魅力をもって活動できる3密回避の体制を構築していきたい。</p>

③ 広報 (※任意)

1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

https://www.youtube.com/channel/UCPIQX5v-wx_gds3iSj54xiA

<https://hotline-shinshu.jimdofree.com/>

2.広報制作物等

ネットワーク便り No.912号~No.1058号

1. 食支援報告書 80P.pdf (hotlineshinshu.org)

1. ネットワーク便り 80P.pdf (hotlineshinshu.org)

3.報告書等

- ① 「共食」と「食育」でつなぐ子どもの居場所.pdf - Google ドライブ
 - ② 信州こども食堂ネットワーク便り 80 頁作成
 - ③ イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）
- 2022年5月19日 共食でつなぐフェスタながの実行委員会 22名参加
 2022年8月11日 ピアニスト中川さんのピアノコンサート 110名参加
 2022年9月2日 立命館大学と信州大学生の子どもの居場所研修会 10名
 2022年9月15日 食支援協力会合同研修会・共食フェスタながの実行委員会 50名
 2022年10月24日 食でつながるフェスタ in ぐんま 講演 100名参加
 2022年12月27日 パソナグループこども食堂研修会 講演 80名参加
 2022年11月12日 共食でつなぐフェスタながの 100名参加
 2023年1月16日 松本市清水小学校こども食堂SDGsと防災を学ぶ 120名
 2023年1月13日 長野北東ロータリークラブ 講演 60名
 2023年2月11日 松本市芳川地域づくり協議会 講演 50名職員他 10名 他

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： https://hotlineshinshu.org/about/terms/
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由： 規定類に変更ありません。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：